

議会だより

東くしら

第135号

平成29年
11月10日発行

発行 鹿兒島県東串良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



息のあった舞踊を披露
町文化祭

関連記事 P.20

28年度決算を認定・・・2
一般質問「介護サービスの充実等」・・・8
魅力ある自然と地域資源の活用を調査・・・15

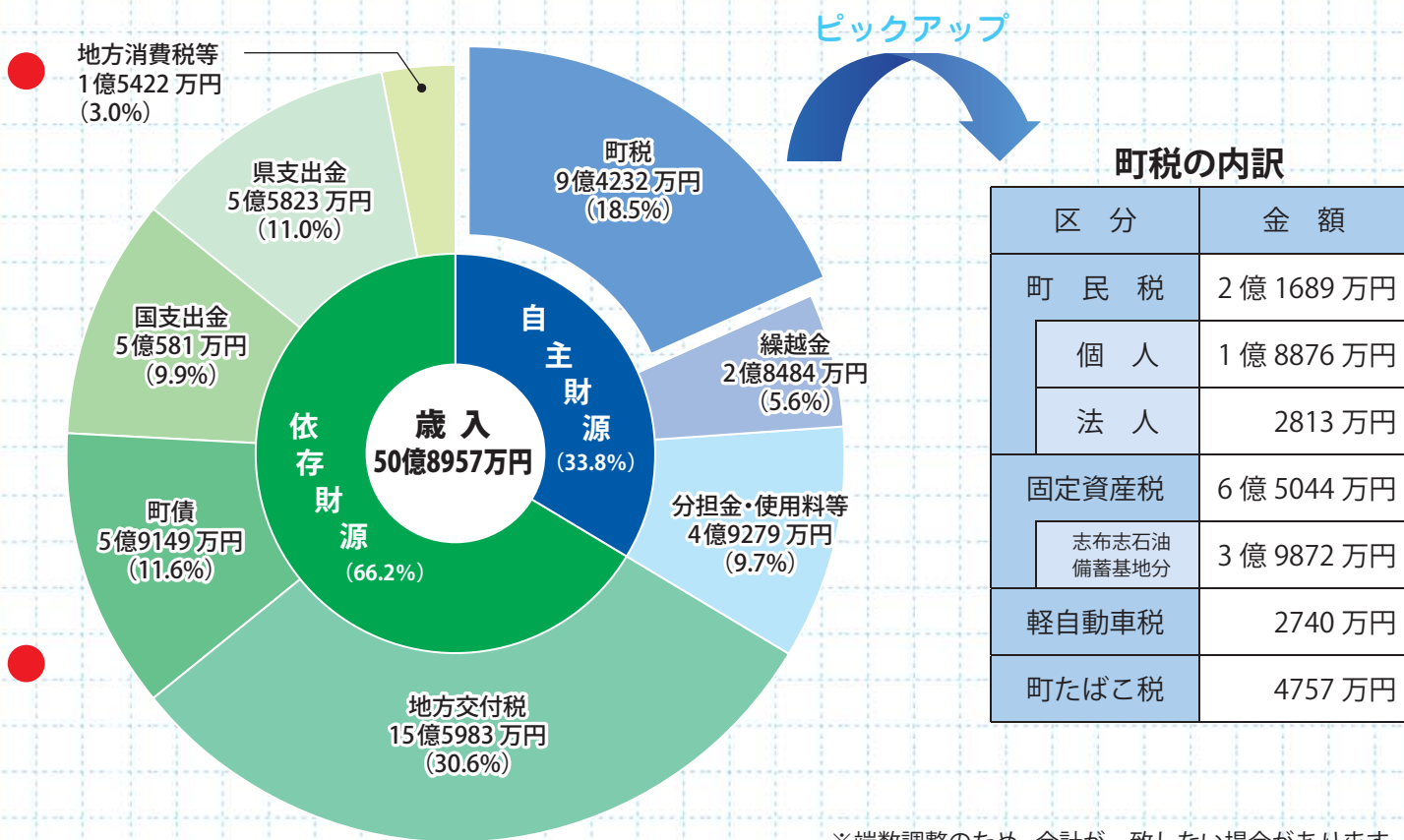
の結果を審査し認定

平成 29 年第 3 回定例会は、9 月 12 日から 9 月 28 日までの 17 日間の会期で開きました。今定例会では、報告 1 件、単行議案 1 件、補正予算 5 件、同意 1 件、決算認定 6 件等を審議しました。（議案等に対する議員の賛否状況は P.7 に掲載）
一般質問には 5 人の議員が登壇し、執行部に質

問を行いました。（関連記事 P.8 ～ P.13）

また、平成 28 年度一般会計、特別会計等の決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、全ての会計を認定しました。

なお、平成 28 年度一般会計歳入歳出の決算のあらましは次のとおりです。



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

健全化判断比率の区分	早期健全化基準	平成 28 年度
①実質赤字比率	15.0%	—
②連結実質赤字比率	20.0%	—
③実質公債費比率	25.0%	5.8%
④将来負担比率	350.0%	—

●**財政は良好**
平成 28 年度東串良町健全化判断比率（左の表）は、全て早期健全化基準以下でした。このことは、東串良町の財政が良好な状態を示しています。
※①と②は黒字のため「—」で表示しています。

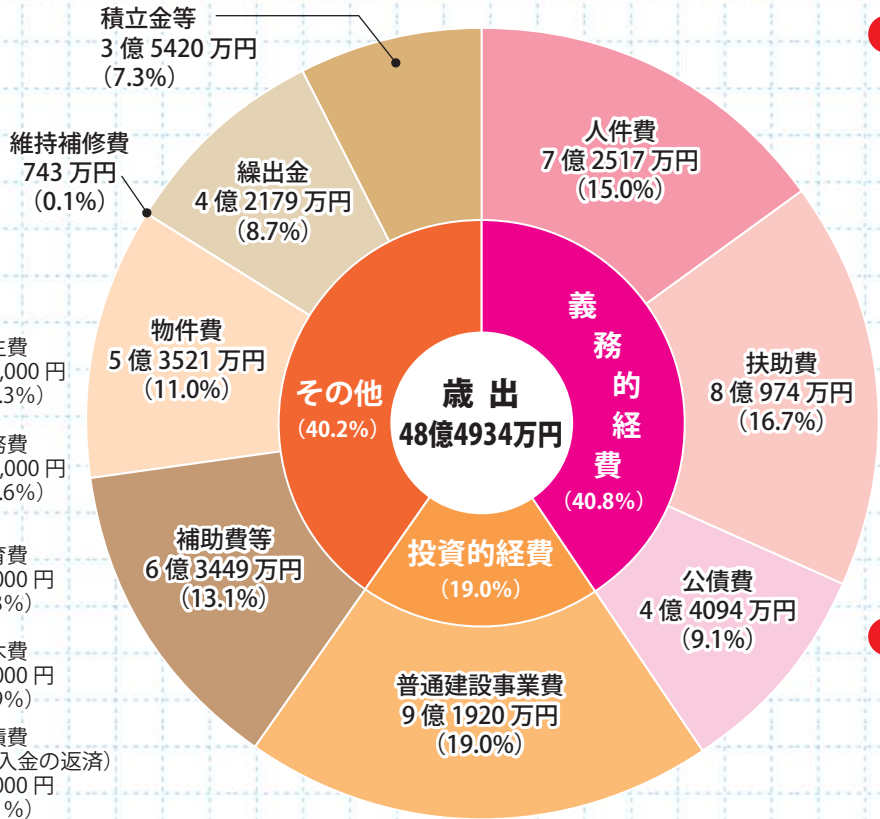
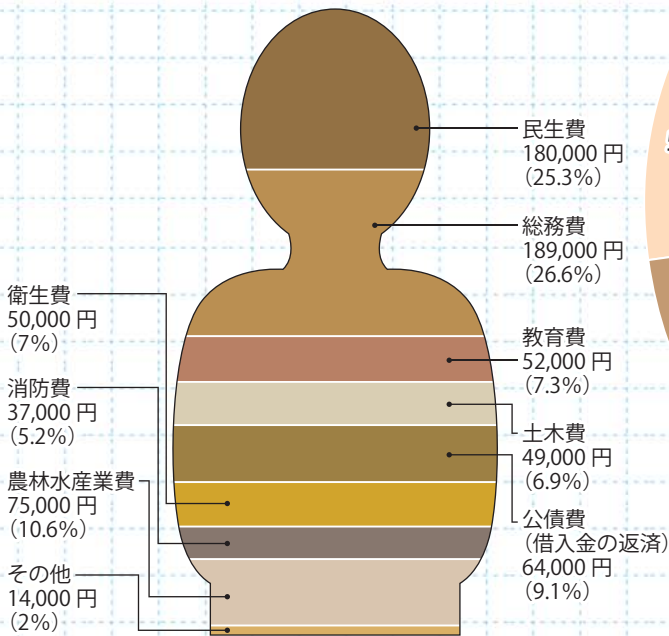
●**ふるさと納税寄附金が対前年度比 6.5 倍**
歳入の決算額は、前年度と比べて 14% 増額となっています。中でも、ふるさと納税寄附金が増えて、自主財源の比率も増えました。
27 年度は約 4 億 1 千万円。
28 年度は約 2 億 6 千万円。

平成29年
9月議会

28年度決算、事業



町民1人あたり
約71万円使いました。



- **平成28年度の目玉事業**
 - ★ 第5次定住促進住宅用地整備工事(46区画)
 - ★ 石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(改良舗装工事、街道添線、防火水槽設置、消防ポンプ自動車購入、LED照明灯設置等)
 - ★ 改良舗装工事(安留柏原線、岩弘雪山線、下之馬場山野線、大塚古市線)
 - ★ 橋梁補修工事
 - ★ 臨時福祉給付金事業
 - ★ 池之原小学校に校舎を増築
 - ★ 町民運動場メインスタンドの改修工事
 - ★ 総合体育館にバスケットゴールを購入
 - ★ 学校給食費の助成事業
- **町の借入金と貯金**

平成28年度末現在の状況です。金額は一般会計と特別会計の合計です。

 - ▼ **町債(借入金)**
52億622万円
町民1人あたりに換算すると76万円です。
 - ▼ **基金(貯金)**
20億5297万円
町民1人あたりに換算すると30万円です。

決算審査

特別委員会

決算審査は予算執行の結果を審査するとともに、その結果から把握した改善、反省すべき点を次年度以降に活かすものです。

決算審査特別委員会は、一般会計及び各種特別会計を審査しました。ここでは、その意見や提言をお伝えします。

予算執行・事業効果 評価する意見

- 財政調整基金の一部について、国債や地方債を購入する資金運用で高い利子を得るなど財源確保が図られている。
- 税の公平性の観点から、滞納者の給与及び口座の差押えを実施し、収納額の実績が上がっている。また金融機関での公共料金引き落としが定着してきている。
- 滞納額の徴収率を上げるため、町税や使用料等は徴収吏員の連携や情報共有に努め、公平・公正かつ効率的な徴収体制を構築している。
- 農業委員会の活動や水土里サークル事業により、耕作放棄地の解消に継続的に努めている。
- 柏原地区小さな拠点づくり事業の導入により、地域住民の利便性・活性化が図られている。



▲地元特産物のふるさと納税返礼品

- ふるさと納税は、担当課職員の努力でクレジット決済での利便や返礼品の新規展開が図られたことにより納税額が倍増となっている。
- 古墳の測量は計画的に進められており、今後の古墳整備に向けて専門員の配置など期待したい。
- 小中一貫教育やひつくら塾を土曜日に開講し広く教育の場を提供するなどして、小中



▲給食費の助成により保護者負担が軽減された

- 学生の学力向上に努めている。
- 学校給食費の助成により保護者負担の軽減が図られている。
- 本町には他町にない献血推進協議会があり、その活発な活動により採血者が増えるなど社会貢献している。
- 20歳～39歳の国保加入者も健診料を無料化するなど、生活習慣病予防への早期介入に取り組み、その成果として健診率の向上につながっている。



▲平成28年10月に結成された「女性消防隊」

- 重複・頻回受診者への訪問指導は、訪問することで町民との信頼関係の構築や不安解消につながるなど、その波及効果も大きいので継続しての実施が望まれる。
- ジェネリック医薬品の推進により、医療費の低減に努めている。
- 女性消防隊が結成され、非常時消防力の向上につながっている。

町当局に20項目の政策を提案

▼古く危険な家屋の撤去が進むよう、資金上の対策を講ずべきである。

▼ゴミの不法投棄を減らすための啓発活動と、衛自連組織の更なる活動の推進を望む。

▼ふるさと納税は、インターネットやマスメディアなどを駆使し広く情報を発信し、本町に更なる多くの納税を促す取り組みを引き続き強めるよう求める。

▼石油立地交付金事業については、一般財源化への取り組みとして全国石油備蓄協議会等での積極的な要望活動を求める。

▼柏原地区における定住促進住宅など、人口増の課題は喫緊の課題である。町当局と議会、町民の知恵と工夫を総結集してこの課題に取り組むべきである。



▲3年前のルーピン畑。毎年咲き誇ってほしいなあ。



▲行政サービスは、みんなのしあわせのために

期して欲しい。

▼道路の補修関係であるが、工事期間が重なっている感がある。補助事業や自然災害などを考慮してのこととは思いますが、年間を通じての平準化発注を要望する。

▼建設課職員は現場での工事関係者への指導など、相応の専門的知識を必要とする。職員配置については技術職員の採用を進めるべきである。

▼施設園芸は本町の基幹作物である。今後も更なる振興を図るうえで、園芸指導員の配置を強く求める。

▼堆肥センターで受け入れる原料については、機器が損傷を受けないよう、原料の質や内容等の基準について検討すべきである。

▼人づくり基金活用の住民への啓発と、町の審査体制の是正を求める。

▼姉妹都市の協定を結び、人と物の交流が図られる政策も必要である。

▼校長住宅、教頭住宅、教職員住宅の整備を引き続き図るべきである。

▼地球温暖化等の影響により、昨今の夏は、日中では40℃を超える猛暑日が続く状況となっている。快適な教育環境を提供するうえで、小中学校へのクーラー設置を強く求める。

▼町内の公共施設のトイレは、洋式化への改修をすべきである。

▼海抜の低い所へは町民の生命を守る対策として、順次、避難タワーを整備すべきである。

▼LED照明灯の設置が進んでいるが、1基あたり設置費用が100万円もする。もつと効率的な設置方策について検討されたい。

また、既設のLED照明灯の中で点灯していないものが散見されるので、日頃の整備点検等に万全を期すべきである。

▼補助団体において、決算繰越額が多額となっている団体を散見した。補助金交付の趣旨を十分に周知するとともに、活動目的を達成できない場合は補助金の返還など指導すべきである。

▼本町の安定した行政運営のためには、今後とも地方交付税や国有資産等所在市町村交付金、石油貯蔵施設立地対策等交付金等の制度維持を引き続き政府に強く求めていく必要がある。

また、町税等の収入未済額の解消など自主財源の確保に万全を期すことを求める。

平成 29 年度補正予算

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容（歳出）
一般会計	6 億 3121 万円	52 億 5293 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ L E D 照明灯設置工事 ・ ふるさと納税の返礼品及び業務委託料等 ・ 大隅肝属地区消防組合負担金 ・ 町民運動場駐車場舗装工事
国民健康保険会計	487 万円	13 億 6517 万円	・ 国庫補助金精算による返還金
介護保険会計 (保険事業勘定)	172 万円	10 億 23 万円	・ 一般会計繰出金
介護保険会計 (サービス事業勘定)	184 万円	595 万円	・ 一般会計繰出金
後期高齢者医療会計	607 万円	9711 万円	・ 後期高齢者医療広域連合への納付金

補正 予算

一般会計外4特別会計を、
とおりに可決しました。ふるさと納税は、
当初予算の見込みを上回る6億円に増額補正
しました。
各会計の主な補正額は、次のとおりです。

**固定資産評価審査委員
の選任**
全会一致で同意
松留純氏（岩弘26
47番地1）の任期満了
に伴う、再任の提案があ
り同意しました。



舗装工事と休憩施設設置予定の現地視察
(多目的広場)



舗装工事予定の町民運動場周辺駐車場

安留 地区

防災センター新築工事が決まる



契約の相手 東串良町川東 1543
有限会社 外西建業
契約金額 7,856 万 6 千円 (内消費税 581 万 6 千円)
工 期 平成 29 年 7 月 28 日～平成 30 年 3 月 1 日まで

第4回臨時会

平成 29 年第 4 回臨時会を、7 月 28 日の 1 日間の会
期で開きました。この臨時会では、予算や工事請負
契約等を審議しました。
町の工事請負契約については、地方自治法等の規
定により予定価格が 5000 万円以上の場合、議会
の議決が必要となります。

臨時会・9月議会

議案等に対する議員の賛否状況

採決とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

表決とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

	議案等の番号	件名	賛否の意思表示										議決結果	
			児玉	瀬戸山	牧原	西園	泊田	前田	上園	原田	宮地	田之畑		
臨時会	議案第28号	平成29年度東串良町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第29号	東串良町防災センター新築工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第30号	財産の取得について	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	-	可決
	議案第31号	反訴の提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
9月議会	同意第9号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
	議案第32号	東串良町過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第33号	平成29年度東串良町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第34号	平成29年度東串良町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第35号	平成29年度東串良町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第36号	平成29年度東串良町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第37号	平成29年度東串良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	認定第1号	平成28年度東串良町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第2号	平成28年度東串良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第3号	平成28年度東串良町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第4号	平成28年度東串良町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第5号	平成28年度東串良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
認定第6号	平成28年度東串良町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	

Q

A

一般質問

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と答弁をあわせて1人60分以内となっています。

児玉 勇治 (9ページ)

- 軽度介護の運営状況と対策
- 核ごみ最終処分場候補地

瀬戸山譲一 (10ページ)

- 避難所施設の停電時対応
- 孤独死を防ぐ町の取り組み

西園 貞美 (11ページ)

- 教室へのエアコン設置

宮地 利雄 (12ページ)

- 定住促進のための補助金
- 古墳めぐり事業
- 国民健康保険事業の運営

牧原 完治 (13ページ)

- 水稻のカメムシ、ウンカ対策
- 農道町道の管理委託
- 地元工場の熱風利用の調査

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報編集委員会が編集したものです。

町政を問う

会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。

- ☆役場1階ロビー本棚
 - ☆福祉センター
 - ☆総合センター
- ・・・是非、ご覧ください。



【東串良町HP】



介護サービスの充実を求める



自立支援を目標に努める



児玉 勇治 議員

児玉

介護保険から切り離された要支援1、2について、南日本新聞の調査では県内36市町村の45%が運営に苦慮、27・4%が順調、27・7%がどちらとも言えないと回答があったが、本町はどう回答したか尋ねる。

町長

現段階では制度の全体像が何も見えていないため、どちらとも言えないと回答した。

財政的な負担を考慮すると現状のままの制度の維持を望んでいる。また、市町村に移行させたこと自体に無理があると思う。

児玉

軽度介護からの事業所の撤退が考えられることと、介護などを行っている本町のボランティアの存在や事業移行による職員の負担及びその他問題点はないか尋ねる。

町長

利用者は、6つの事業所から今までどおりのサービスが受けられている。

また、訪問看護を行っている民間団体は、本町にはない。

なお、地域包括支援センターの業務量が増えたため、今年度から社会福祉士とケアマネジャー、生活支援コーディネーターの3名を増員した。本町では自立支援を目標としたサービスができるよう、地域資源の発掘を行っていると思う。



“いつまでも、元気でいきいきと”がみんなの願い

児玉

訪問看護・デイサービスは、軽度向け介護にとっても重要である。地域住民のボランティアや緩和型報酬等も考慮しながら、サービス全体の底上げができる対策を要望する。

町長

本町も最終処分ができる可能性がある適地に含まれていたが、受け入れは断固拒否する。

児玉

本町は一次産業であるため、農業への影響が危惧される。

県内の7つの市町村で放射性廃棄物の受け入れや、持ち込みを拒否する条例を制定している。大隅半島では錦江町と南大隅町がそうであるが、共闘して拒否していく考えはないか。

町長

基幹産業である農業への悪影響を考えたとき到底受け入れられないので、隣接する町と強く連携を図っていく。

児玉

県内の地質学者からは、火山噴火や断層の知見が十分に反映されていない本県は、適地ではないとされている。

Q 核ごみ最終処分場の候補地としての対応は

A 受け入れは断固拒否

児玉

経済産業省は、原発から出る高レベル放射性廃棄物である核ごみ最終処分の候補になり得る地域を日本地図上に示した科学的特性マップを公表した。

県内の36市町村の候補地に本町も含まれ、全ての自治体が反対と表明したが、本町の回答はどうか尋ねる。

Q 避難所の停電時の対応は

A 蓄電池システム等の環境整備に努める



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山 昨年の熊本地震の際に避難所を視察した。真夏でありクーラーの設置が必ずであったが避難所では適格に整備され、住民の安心があった。東串良の避難所では停電時等、どのような配慮がなされているか。

町長 公共施設は、町の防災対策拠点、避難所としての機能を有していなければならぬ。津波対策の避難所として整備した柏原小学校の屋上、下伊倉の避難タワーはLEDや携帯電話、ラジオ等の蓄電装置を設けた。

災害時において大規模停電が長期化した場合など、避難所での高齢者等の体調に影響が出てくることは十分考えられる。この対策として、各避難所、保健センター、総合センター、各小学校体育館への

発電機などの導入による非常用電源の設置、あるいは太陽光発電システムに加え、蓄電システムを併設することで、迅速かつ確かな電源の確保が可能となるよう環境整備に努めていきたい。

Q 高齢者の孤独死を防ぐ町の取り組みは

A 民生委員の活動や訪問給食事業の見守りがある

瀬戸山 今、高齢者が看取られずに一人で亡くなられる孤独死が大きな社会問題となっている。

孤独死の現場は悲惨で何とかして避けたい事案であるが、町はどのような取り組みをしているのか。

町長 厚生労働大臣から委嘱された民生委員が身近な相談相手となっている。

民生委員は、社会全般の制度や介護保険サービスが受けられるよう福祉課や地域包括支援センター、社会福祉協議会などとの連携を密にするため、月に1回の定例会を開

催している。ここでは様々な制度を学ぶとともに事前研修など行っている。

また、高齢者訪問給食も見守りとしての一端を担っている。

瀬戸山 社会問題化している子供の貧困問題は、本町ではどのような状況か。

町長 生活困窮者自立支援制度の創設により平成28年度に、大隅くらし・しごとサポートセンター（通称…くらサポ）が鹿屋市に設置された。

福祉事務所を持たない本町ほか4町では、制度に基づく各種の事業をくらしサポートセンターを通じて展開している。

昨年度、本町における相談事案は自立相談支援や就労支援相談がほとんどであり、子供の貧困に関する相談の受付はなかったということである。今後そのような相談があれば適切に対応していきたい。



お金 生活費に困っている、借金が返せない

仕事 仕事が續かない、人間関係がうまくいかない

住まい 家を失いそう、住む家がない

子ども 勉強についていけない、子育てに自信が持てない

くらし 生きていくのがツライ…誰にも相談できない

どのようなことでも、まずはお電話ください。解決策を一緒に考えます。

〒893-0011 鹿児島県鹿屋市打馬2丁目16-6 大隅地域振興局2F
☎0994-52-2072 土・日・祝日専用 ☎0994-45-7428



教室にエアコン設置を求める



補助事業等を検討していく



西園 貞美 議員

西園 小・中学校の教室へのエアコン設置について、子供に教育を受けさせる環境づくりを尋ねる。

今年の夏も例年にならない非常に厳しい暑さであった。この厳しい暑さの中で、自分たちは庁舎のクーラーの中で過ごして、子供には扇風機で我慢しろというのは非常に酷な気がする。子供は自分で環境を変えられることはできない。勉強ができる環境なのか。

教育長 6月までに各クラス6台の扇風機を設置していただいた。当分はこれで我慢してもらえないと今のところは考えている。計画的な予算確保をお願いしていきたい。
西園 扇風機だけでは部屋の暑い熱風をかき回すだけだ。いつも財源が厳しいというところだが、いろんな補助事業を



一生懸命です。しかし、夏の教室は暑いなあ。

の補助率の国の補助事業制度がある。申請しているが、早急に事業採択されるのは厳しい現状である。

子供たちが健康で明るく、楽しい学校生活ができるように学校施設整備に努めることは行政の責務である。近隣市町の動向を踏まえながら将来的にはエアコン設置ができるよう取り組んでいきたい。

西園 教員住宅をつくる計画もある。また、畜産センターの所を舗装する計画もあるが、それよりも子供に教育を受けさせる環境づくりのほうが先ではないか。

教育長 教員住宅は築年次も古く、シロアリ等で相当ひどい状態であった。クーラーの件は引き続きお願いしていきたい。

西園 教員住宅は、町が引き取ったにぎやかタウン雪山の住宅を利用できないのか。
町長 その住宅は、まだ入っていないので、そこまでのことは考えていない。

西園 にぎやかタウン雪山の問題も、前から買い取ってほしいという要望があったのだから、そのことを踏まえて検討しておくべきであったと思う。

やがては東申良を、あるいは日本を背負っていく子供たちである。エアコン設置は、多額の財源がかかっても、子供たちの将来を考えれば安いものだと思う。補助事業をみつけて補正を組む気はないか。
町長 十分検討させていただきたい。

西園 検討という言葉はいつも当てにならない。この回答を聞いて、小学校、中学校の保護者は、そのとおりだ、執行部が言うことは当たり前だと思える人は多分1人もいないと思う。やがて東申良、あるいは日本を背負っていく子供たちのために、真剣に取り組む早急に対策を打って、議会のほうにも回答願いたい。

みつけ、あるいは財源確保は誰がするのか。我々議員がするののか。あなた方の仕事じゃないのか。仕事をしっかりすれば財源はあると思うが。
町長 熱中症対策として、扇風機を1教室4台ほど増設し環境改善の対策をとらせている。早急なエアコン設置は現時点ではちよつと厳しい状況である。

西園 補助事業をみつけ、財源確保は実際にしたのか。
町長 空調設備に3分の1

Q 定住促進の補助金は実績があるか

A 現時点、実績はない



宮地 利雄 議員

宮地 定住促進の用地以外でも、町内に町外から入ってきて、本町への移住促進を促すための住宅の建設や購入への補助制度があり、各種加算もある。

また、空き家対策、新婚の生活支援という補助金もある。それらの活用実績はどうなっているか。

町長 現時点では申請の実績はない。

宮地 今後の方策は。

町長 移住促進事業補助金の内容を十分に理解いただくために、本町の建築業者を対象に補助金に関する説明会を10月上旬に開催する予定である。

宮地 同時に建築業者が利用する下請についても、町内に該当する業者がいる場合は、ぜひ下請も町内業者を優先し

てくださいよ、と会議で徹底してもらいたい。

町長 地元商工業者を活用していただきたいという思いは、私も同じである。

Q 定住促進地域に公民館が必要ではないか

A 一部より声がある

宮地 定住促進住宅は370人程が暮らす一大団地となっている。行政を含めた住民の交流の場、支え合う場としてのコミュニティセンター、公民館が必要なのではないか。

町長 一部ではあるが集会施設が欲しいという声も聞いている。施設整備の対象となる助成事業がないか確認したい。

Q 古墳めぐり事業とは

A 1市3町の連携によるバスツアーである

宮地 肝付町、大崎町、本町の古墳めぐり事業はどのような内容か。

町長 肝付町の塚崎古墳から東串良町の唐仁古墳群、そして大崎町の横瀬古墳群をめぐり、鹿屋市にある古墳時代の貴重な遺物に触れるバスツアーである。各地域の名物ガイドがバスに同乗し案内、説明をする体制をとっている。

宮地 古墳に関する県の事業があるように聞いたが。

企画課長 県の魅力ある観光地づくり事業がある。この事業については施設を整備する事業で、土地は各市町で準備し、施設は県の事業として執行され県の財産となる。

Q 国保の税率は県下統一か

A 県は、平成35年度を目標としている

宮地 新制度により国保の運営が県に移行される。税率を県下で統一する方向で、県は動いているのか。

町長 保険料の統一は当面行われませんが、平成30年度以降に引き続き市町村と協議していくという事になっている。

宮地 現在の国保税の課税

方式で、資産割を外して3つの課税方式にするという話があるが。

町長 県は、平成35年度を目標として全市町村が3方式に統一するとしている。

また、その際に必要に応じて保険料に占める資産割の割合を段階的に縮小していくなど経過措置を設けるとしている。

宮地 法定外の一般会計からの繰り入れについて、県は当面は認めるとい方向だと聞いているが。

町長 法的には禁止されていないので繰り入れ可能だと思われるが、計画的・段階的に解消を図っていくことが求められている。

宮地 もし30年度の国保税被保険者の負担が増えるという場合は、一般会計からの繰り入れを増やしてもそれは抑えるという、町長の決意を聞きたい。

町長 その際には国保の基金積立金を取り崩すとともに、可能な範囲での一般会計からの法定外繰り入れも当面の間、投入することもやむを得ないと考えている。

Q 水稲のカメムシ対策は

A 自主防除の徹底も呼びかけたい



牧原 完治 議員

牧原

本町農業の基幹作物である水稲は、本年度についてはカメムシによる被害で等外米が3割近くであった。

そこで、来年度の航空防除についてどう考えているのか。また、ウンカの発生も多く見られたが、併せて来年度の対策はどうするのか。

町長

東串良町水稲航空防除連絡協議会では、本年7月3日の水稲航空防除実施に伴い、散布前の7月2日にカメムシ調査を実施した。

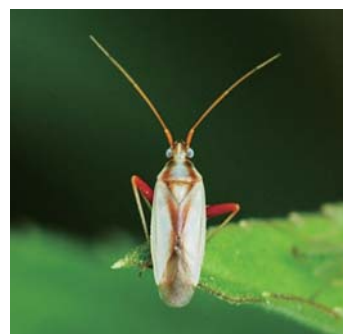
結果、10地点での合計で641匹のカメムシを確認し、散布後の7月6日に再実施したカメムシ調査では同じ10地点の合計で4匹のカメムシが確認された。約99%の殺虫率であったと聞いている。

過去5年間の殺虫率が平均約99%であるので、今年も例

年にたがわず防除効果は出ていたわけである。その中で被害が出た原因は、散布後に飛来したカメムシや防除直後に卵からふ化したカメムシが原因ではないかなど多々考えられる。しかし、原因特定には至っていない。昨今は田植えの時期や収穫期間に開きが出ている。そのため、協議会では2回防除を推奨し、航空防除とは別に自



「カメムシ」の被害により着色した米粒



稲の害虫「カメムシ」

主防除をお願いしている。

しかし、なかなか自主防除は実施が少ない状況である。今後も引き続き協議会を中心に自主防除の徹底も呼びかけていきたい。ウンカの対策であるが、本町は早期地帯であるためウンカ発生に伴う水稲の被害は現時点ではあまりない。収穫時期の遅いWCS用稲の被害は懸念されるので、技連会を中心に栽培技術の指導を続けたい。

Q 土木業者等に道路管理を委託できないか

A 近隣市町の取り組みを参考に検討する

牧原 道路管理については、土木業者等に管理委託はできないか。

町長 現在、道路の管理については建設課職員による道路パトロールや町民からの情報提供により対応している。

町道は改修時に草の繁茂を防ぐため、路肩に張りコンクリートを施工するなどしている。特に通学路等の主幹線道

路は町内業者のボランティア活動で除草作業等実施していただいている。

また、農道については水土里サークル活動に取り組んでいただき、除草伐採等の作業が実施されている。

ボランティア活動等だけでは限度があるので、除草予防と管理の委託については近隣市町の取り組みも参考にしながら今後検討していきたい。

Q 熱風を利用する調査はできないか

A 専門機関等に相談してアイデアを模索してみたい

牧原 九州金属から常時排出される熱風を利用し、施設園芸等に利用できないか調査する考えはないか。

町長 施設園芸で使えるかどうかはまだ分からないが、検討する余地はあると思う。あらゆる専門機関や大学を含めて相談して、高度の熱、熱風エネルギーを利用したアイデアをとにかく模索してみたいと考えている。

(備考：○…出席 ×…欠席 △…同日複数会議で1会議に出席 遅…遅刻 早…早退 他…他の公務 -…該当なし)

日付	会議・行事等	児玉 勇治	瀬戸山 謙一	牧原 完治	西園 貞美	泊 重巳	前田 隆	上園 ミキ	原田 猛	宮地 利雄	田之畑 稔
8/1	広報編集委員会、全員協議会	○	○	○	○	他	○	○	早	○	○
8/2	徳島県石井町議会の研修受入	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○
8/3-4	市町村政研修会及び地方創生特別委員会調査	○	×	○	○	他	○	○	×	○	○
8/16	大隅地域市町議会議員協議会研修会総会等	○	○	○	○	×	×	○	×	○	早
8/20	ぎおん祭り	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
8/21	総務民生常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	○	○	-
8/22	教育産業常任委員会	他	-	○	-	-	○	○	-	-	○
8/23	県議長会議会広報研修会	×	×	○	-	-	○	-	×	○	○
8/28	議会運営委員会、特別委員会（にぎやか雪山、地方創生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/3	全共出品牛出発式	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○
9/7	議会運営委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/12	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/13	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/14	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/15	決算審査特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
9/18	東串良中学校体育大会	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○
9/19	決算審査特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
9/20	決算審査特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
9/21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/22	決算審査特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
9/24	高齢者福祉大会	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○
9/26	特別委員会、各常任委員会	他	×	○	○	○	○	○	○	○	○
9/27	決算審査特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
9/28	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/1	各小学校運動会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
10/3	全員協議会、広報編集委員会、特別委員会等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/6	全国和牛能力共進会入賞祝賀会	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○
10/8	町民運動会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
10/20	郡議長会議員大会・研修会・スポーツ大会等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/27～30	各常任委員会所管事務調査及び関東・東くしら会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

* 議長の公務一覧 *

日付	用務	場所	備考
8/26	志布志港国際バルク戦略港湾整備促進大会	志布志市文化会館	
8/28	全共出品者の壮行会	東串良町役場	副議長も出席
8/29	郡議長会定期総会	肝付町役場	
8/30	東串良町みどり推進協議会総会	東串良町役場	
9/5	第26回暴力追放県民大会	鹿屋市文化会館	
10/5	木材PR・木材需要拡大の要望活動	東串良町役場	

地方創生特別委員会の調査報告



本町の地域活性化策を検討するうえで、都市と農村の交流実践の一つとして、鹿児島市が運営している鹿児島市観光農業公園（グリーンファーム）について調査しました。

魅力ある自然と地域資源を活用

1 調査日

平成29年8月4日（金）

2 調査の概要

鹿児島市観光農業公園は、魅力ある自然や農畜産物等の資源の活用により、農業及び農村地域の活性化を図り、食と農への理解や循環農業を通じた環境への関心を高め、市の観光の振興に資することを目的に、平成24年度から使用開始された。

施設は標高230mにあり総面積は41.3haで、鹿児島市が約36億円をかけて整備したものである。基本コンセプトは、民間参画ゾーン、体験学習ゾーン、地域交流ゾーンから成り立ち、滞在型市民農園も整備されている。

運営は市職員5人、嘱託職員14人、臨時職員7人で行い、収支状況は歳入2061万円に対して歳出が1億4121万円で、市職員の給料を入れると年間約2億円の赤字となっている。昨年度の利用者数は19万500人である。

3 調査を実施しての意見や感想、町への政策提言等

①市街地より車で1時間程度の位置にあり、休日に自然を満喫できる。滞在型市民農園も整備され、農業体験を通じて食と農への関心を高める効果がある。

②特に子ども達に多彩な体験をさせるプログラムがあり、ここで体験した子ども達は将来、幅広い豊かな思考ができるのではないかと思う。

③人件費を含む年間赤字が2億円である。鹿児島市だからこそできる事業であり、同規模の施設の本町への導入は全く無理である。

④本町では財政面や地の利、また、自然環境など考えたときに、こうした事業の整備は厳しいのではないか。町花ルーピンが一面に咲きほこる海岸線を再度生み出す仕事が先と感じた。



ビニールハウス。雨天時も農作業体験ができる



木工クラフトなどを体験できる「工芸体験室」



自然の中でピザづくり体験ができる「ピザ釜」



地元の新鮮な野菜が豊富に並ぶ農産物直売所



市民農園は簡易宿泊所とセットで貸し出し



地域食材にこだわった「農園レストラン」

町内の巡回活動

★巡回 12 回目★
平成 29 年 8 月 1 日
巡回地 柏原地区

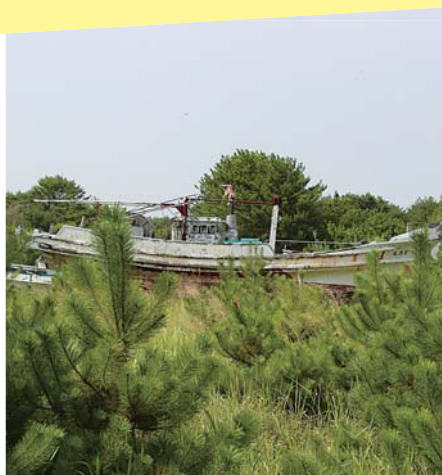
定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。
調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。



景観を損ねる多数の放置船 柏原海岸、砂浜、松林は、大切な観光資源です。

使用できなくなった廃船なのか、置き場に困った船なのか、柏原海岸等に多数の放置船があり、景観を損ねている状況です。船の所有者に対し、船の移動や保管場所の確保を早急にしてほしいものです。

議会は、町当局から現状を確認し、また、関係機関に対策を講ずるよう要望しました。



▲水路に掛かる橋の強度が危ぶまれる（下伊倉）



▲見通しは良いが交通事故が発生しやすい交差点の安全対策（オレンジ色で交差点を強調）

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。
【連絡先】 東申良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

議会災害対策本部について視察

— 徳島県石井町議会が研修に訪れる —



去る8月2日、徳島県石井町議会河川・防災対策特別委員会（委員7人、職員1人）の方々が、本町議会に視察研修に訪れました。

当日は、田之畑議長、上園副議長、泊議員、牧原議員、児玉議員で対応しました。

「災害発生時における町議会の協力体制について」を研修議題に、お互いの町での活動を紹介しながら活発な意見交換を行いました。

お互いに学び合う有益な研修となりました。



議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・年齢を記入していただくだけです。

議会を傍聴することは、町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

12月議会は、11日からの開会予定です。



議会傍聴延べ人数

3月議会・・・21人

6月議会・・・16人

9月議会・・・15人

※本会議については、防災無線でお知らせします。

町民に インタビュー

Vol.17



このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

今回は、関東・東くしら会への出席を機会に会長の楠木健郎さんに東くしら会の現状について話を伺います。

議長 関東地域に居住され、東串良町出身者で構成している関東・東くしら会の組織と役員について伺います。



議長 田之畑 稔

関東・東くしら会
会長 楠木健郎さん

郷里を愛する心・絆・巡り会いを大切に
親睦と交流を図っていききたい

楠木 「ふるさと東串良」

の出身者で関東地域において就労している人や縁あって嫁いだ人、また事業経営者や退職した後も関東地域に居住されている人などが、関東・東くしら会を結成して、暮らしの近況情報を交換しながら相互の親睦と交流を図っています。

二年ごとに開催される本会は、設立から今日まで歴代の会長をはじめ役員や諸先輩方のご尽力により継続されており、今回は第十一回の総会を迎えました。

※現役員の氏名と東串良中学校卒業年度は次の通りです。

会長	楠木健郎	36年卒
副会長	福寿迫二郎	38年卒
副会長	屋田 稔	38年卒
幹事長	江川 登	37年卒
幹事	前園 務	34年卒
幹事	牧 元雄	36年卒
幹事	外西 勝	38年卒
幹事	原田 寛	42年卒
監事	上野尚文	37年卒
顧問	横山 弘	32年卒
顧問	有村正意	35年卒

議長 ふるさとへの想いや要望など心情を伺います。

楠木 東串良に生まれ、学び育った私どもは、ふるさと



東串良に強い愛郷の念を抱いております。ふるさと東串良には親兄弟、親戚、友人などが暮らしており片時も忘れることはありません。私たちは遠く関東の地に在ってもふるさと東串良に思いを寄せて町の安寧と発展を願っています。そして、私たちが誇れる町づくりを期待しています。

議長 楠木会長には鹿児島産品の販売促進に尽力されていると聞き及んでいますが現状を伺います。

楠木 私は、関東において



す。育んでくれた故郷の鹿児島に少しでも貢献して恩返しをしたいとの思いから、鹿児島和牛と黒豚を鹿児島県経済連から年間約4トンを取り寄せ消費拡大に取り組んでいます。

今後は、先の全国共進会で鹿児島和牛が日本一の栄冠を得たことで、更に鹿児島県産品の宣伝と消費拡大に取り組みます。

議長 楠木会長には今後ともふるさと東串良との連携を図り関東・東くしら会の益々の発展にご尽力頂きますようお願い致します。

関東・東くしら会役員のみなさん



(ヒント：かしわばる)



(ヒント：たまりみず)



【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
 - ・ 1と2の答え
 - ・ 住所、氏名、年齢、電話番号
 - ・ 議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など
(ひとことでもいいです。)
- 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
- しめきりは、平成 29 年 12 月 10 日です。(当日消印有効)
- あて先
〒893-1693 東串良町川西 1543
東串良町議会事務局



ふるって
ご応募ください

議会だよりに投稿しませんか



例えば

1. この町に住んで感じるこ(400 字程度)
2. 議会を傍聴して(感想等)
3. 将来の夢(400 字程度)
4. 東串良町の未来図(図画)
5. 自慢のワンショット写真
6. イラスト ……など

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)

なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

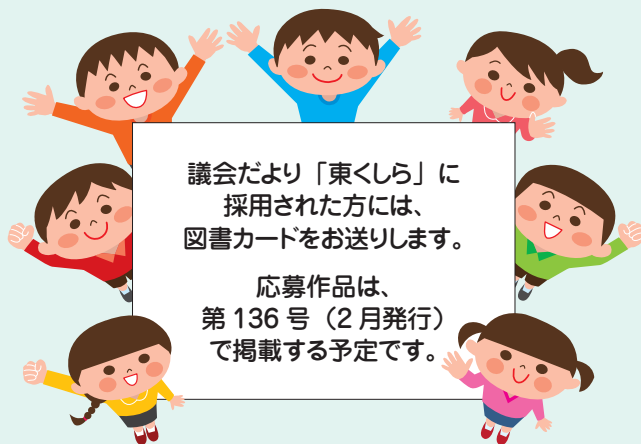
【応募先】

〒893-1693 東串良町川西 1543 番地
東串良町議会事務局

メールアドレス：gikai@higashikushira.com

【しめきり】平成 30 年1月 15 日必着

【注 意】作品の返品はいたしません。



議会だよりに「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

応募作品は、第 136 号(2 月発行)で掲載する予定です。

輪和話のひろば

vol.17

このコーナーは、町内のあちろちろの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。

地元の歴史を発掘し、地域交流に結びたい「唐仁会」

今回は、地元の歴史に興味のある町内外の人々で、今年8月に結成された「唐仁会」を紹介します。

唐仁会の活動が始まったきっかけは、埋もれた東串良の歴史には、古代・中世・近代全てに重要な意義を持ち、その発掘と情報発信が最高のツールであると考えたことによりです。

主な活動は、参加者が持つ

ている歴史的情報・文献を持ち寄り検討し、現地を視察しています。知らない東串良の歴史の真実に驚かされ、知る楽しみと弾む会話は、時間の経過を忘れるほど熱中します。

唐仁会には、肝付町や鹿屋市の方も参加されているので、歴史を通じて地域連携が図れています。これからの活動は、このことをさらに展開していきたいです。ゆくゆくは、奄美・沖縄・東南アジア・中国とも交流できるようにしたいです。

〜ひびく〜

私も「唐仁会」の一員として、地元の歴史を改めて学んでいます。その中で、東串良の歴史的意義や事実を発信することは、東串良の大きな起爆剤になりそうだと感じています。

取材者 瀬戸山 譲一



情報交換



現地を視察



表紙の案内 ~芸術の秋~



10月21日~22日、町総合センターにて東串良町文化祭が開催されました。展示部門や舞台部門があり、芸術・文化の振興が図られ、みんなで楽しみました。

編集後記

師走を前に慌ただしい季節となり、この1年もあつという間に過ぎ去るようになってしましますが、皆様におかれましては健康やかにお過ごしのことと存じます。

振り返りますと、今年の夏も台風が上陸し、対策や後片付け等に変な苦労がありました。幸いにして大きな被害がなかったことにほっとしたところでは。

さて、3月・6月・9月・12月議会ごとに、私たち議員に唯一、町長に対して政策提案ができる一般質問があります。その内容について「議会

だより」で紹介しておりますが、限られた字数のため、ほんの一部しか報告できない状況です。そこで、私たち議員の生の声を傍聴してみませんか。私たちも多くの町民の皆様が傍聴しやすい環境づくりを目指し活動して参りますので、ぜひ議会傍聴にお越しください。

牧原 完治

▼広報編集委員会

- | | |
|--------|--------|
| 編集委員長 | 宮地 利雄 |
| 編集副委員長 | 児玉 勇治 |
| 編集委員 | 瀬戸山 譲一 |
| 〃 | 牧原 完治 |
| 〃 | 前田 隆 |
| 〃 | 原田 猛 |